

第29回日本毒性病理学会 研究発表のご案内

<ポスター発表>

一般演題 ポスター 2013年1月31日 13:20 - 14:40 第2会場

演題番号: P-46

演題名: がん原性試験における ICR マウスのアミロイドーシス発生状況
及びアミロイドーシスと表皮剥離の関連

概要:

ICR マウスは、がん原性試験において表皮剥離を伴ったアミロイドーシスがしばしばみられ、被験物質投与の影響や死因などを考察する上で、主要な所見の一つとなっています。今回我々は、がん原性試験に供された ICR マウスのアミロイドーシスについてその発生状況を明らかにすると共に、表皮剥離との相関性についても調査したので報告いたします。

一般演題 ポスター 2013年2月1日 10:30 - 11:50 第2会場

演題番号: P-89

演題名: Busulfan に暴露されたラット胎児および新生児の病理組織学的検索

概要:

Busulfan は抗腫瘍作用を有する二官能性のアルキル化剤であり、その高用量ないし長期投与によって成熟ラットの消化管、リンパ組織、生殖器、神経組織及び眼組織に病変を惹起することが知られています。我々はこれまでに胎仔及び新生仔の中樞神経・眼組織における Busulfan 誘発病変について本学会にて報告してきました。今回はラット胎仔及び新生仔の中樞神経系・眼組織以外の組織に関して報告いたします。



株式
会社

ボゾリサーチセンター